

平成26年度第2回佐久市総合計画審議会第1部会 議事録

日 時:平成26年9月17日(水)

15:20~17:20

場 所:佐久市役所 501会議室

【出席者】白井部会長、小平副部会長、斎藤委員、青柳委員、佐々木委員、武重委員

【欠席者】黒木委員

【事務局】矢野部長、佐藤課長、若林補佐、小池

- 1 開会
- 2 部会長挨拶
- 3 議 事

(1) 第1回部会での意見に対する対応について

事務局より、前回の部会で出された質問・意見（後日質問票によって提出されたものを含む。）に対する回答や対応等について説明。その後、部会において審議。

(資料4)

(委 員)	132 スポーツ パルセイロについて「…と伺っている」ということは、パルセイロから正式な回答がないということですか。
(事務局)	レディースについては、残って引き続きホームゲームを開催すると聞いております。トップチームについては、先日ツエーゲン金沢に負けて3位になってしまったのでどうなるか分かりませんが、J2に昇格すると、総合運動公園陸上競技場が規格に合わずホームゲームに使用できないので公式戦が開催できません。その場合は、練習試合やマッチゲームなどの開催にとどまることとなります。いずれにしても、こちらは現在のJ3の結果待ちです。

(2) 「目標」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

事務局より、第一次佐久市総合計画後期基本計画の第1章・第6章に掲げられた「目標」のうち、「やや遅れている」「遅れている」の項目について説明。その後、部会において審議。(資料2-2)

ア 第1章 「やや遅れている」「遅れている」の項目に対する質問・意見

<p>(委員)</p>	<p>No.2 「観覧系施設の延べ入館者数」(111 文化・芸術) 延べ入館者数は地元の人以外も入っているのですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>入っております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>各施設で伸びている所とそうでない所は分かるのですか。漠然と伸ばそうとするよりは、施設を絞って伸ばす方がよいと考えますが。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ご指摘のとおり、大きく減少している所に力を入れるなど、ピンポイントで利用者増を図ることも重要ですので、担当課につなげていきたいと思えます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>傾向分析を行って3年とか5年の計画を立て、流れに沿ってやっていくのがよいと思えます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ご意見として承り、検討してまいります。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>文化事業団の経営報告を見ていますと、所管するどの施設の利用者が多いか少ないかの分析を行っています。良い意見が出ましたので、検討してもらいたいと思えます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>No.4 「国際交流フェスティバル延べ参加者数」(112 地域間交流・国際交流) フェスティバルの委託先は、いくつかあるのですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>いくつかあり、その方々のネットワークを広げるためにも底上げを図りたいと考えております。佐久市の場合、市内在住の外国人にブースに出ていただくほか、その友人にも参加していただいております。 実施主体が市でも、実際の運営ではそういった方々に主体的に動いていただいた方がよいと考えております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>佐久市の外国人人口は減っていると聞きます。目安として、28年度までに増加することは難しいと思うのですが。</p>

(事務局)	外国人登録者数の数は減っておりますが、外国籍の方の参加はもちろん、一般市民にも参加してもらって交流を深めたいという意図がありますので、フェスティバルやサロンの参加者数としては増やしたいとしております。
(委員)	そうなると、お客として来るよりは主体的に参加させる、という方が確かによいと思います。
(副部長)	実際に参加に関わったことがあります。ALTの先生にブースに入ってもらったり、中学生に参加を呼び掛けたりしていました。中学生には、教室という狭い空間での外国語学習のみならず、フェスティバルに行き、社会にいらっしゃる、佐久市に住む様々な国籍の方との交流をして、外国の文化を学んでほしいと思っています。ここでは数を増やすことが目標になっていますが、それは最終目標ではなく、一人でも多く中学生が参加して、こういう生活があるのか、こういう文化があるのかと肌で感じてほしいです。もちろん小学生や高校生の参加も良いのですが、市内には7中学校があるので、一人でも多く中学生が参加できるように、英語科でも校長先生でも構いませんが、力を入れてほしいと思います。
(委員)	AETの先生は何人いるのですか。中学校1校に1人ですか。
(事務局)	今、担当に確認します。
(委員)	先生が参加すると、中学生も参加すると思うので、そういった所から促進してはいかがでしょうか。
(事務局)	国際交流フェスティバルやサロンの他、市では、中学生の人材育成研修としてアメリカ・モンゴルへの派遣事業を行っております。参加した中学生の報告を聞く限りでは、相当なカルチャーショックを受けるようです。良い面で刺激になるので、学校にも働き掛けていきたいと思っています。
(委員)	いろいろな方向を考えながら、トータル的に理解し話せるようになることが必要だと思います。

(事務局)	A E Tの先生の数について教育委員会に確認したところ、佐久市には10名いらっしゃいます。実働は8名で、残りの2名は、教材作成やA E Tの指導などを行う後方支援のための先生であるとのこと。原則として市内7地区に1人ずつ配置され、それぞれ地区内の小中学校を担当してもらっていますが、大規模校が含まれる地区につきましては、一部を別の先生に担当してもらい、一人あたりの受け持ちのバランスを取っているそうです。
(委員)	国際交流フェスティバルに参加するよう市から働きかけているのですか。
(事務局)	市からは要請していませんが、実際に行ってみるとA E Tの先生が来ていたり、実際にブースに入ってくださったりしています。
(委員)	A E Tの先生が生徒から愛称で呼ばれているのを見掛けますので、お手伝いをしてくれるよう働きかければ、親しみを持っている中学生も来るのではないのでしょうか。
(副部長)	A E Tの先生方は世界で活躍したいという志や目的をもって来ている方が多いので、ネットワークが県内外に広がっています。そういった方々を積極的に活用すべきだと思います。
(部長)	No.10 「小学校不登校児童の割合」(122 学校教育) 小学生の場合は中学校進学にあたり生活のリズムが崩れるから不登校になる、と書いてありますが、そういう分析なのですか。
(事務局)	全てがそうであると単純には言えないと思いますが、以前に比べると、学校の現場ではそのような傾向が見られるようです。
(部長)	昔は、起きない子は無理矢理にでも起こして通わせると、数日も続けければ夜は眠くなるから早寝早起きができるようになったものです。言っても起きないからそのままにしておく、ということをする、こうなってしまうのではないのでしょうか。

(委員)	なかなか一方的にはできないと思います。友達との関係で学校に行かれないなどの理由もありますので。
(事務局)	先日、ある小学校に行ったとき、昇降口に「朝ごはんを必ず食べよう」という張り紙がしてあり、食べない子が多いからこのような張り紙があるのだろうと感じました。生活習慣が微妙に変わってきていることは確かだと思います。
(委員)	母親・父親の子供に対する役割が大切だと思います。昔は朝起きて掃除をして学校に行くというしつけをされてきましたが、今は親が仕事に行かなければならないので食事をして出るのが精一杯でしょう。学校云々と親御さんは言いますが、やはり親御さんのしつけが大事だと思います。
(委員)	自分が仕事をしていて遅くなりますので、子供には小さなときから先に寝てもらっていました。そうすると、子供が大きくなるにつれて上の子が下の子の面倒を見てくれるようになりました。もちろん段取りは親がしていますが、今では朝早く家を出るようになって、親が起きられない時には自分で支度をして出てくれるようになりました。
(委員)	時代が変わり、親がどこまで入ってよいのか、周りの大人がどこまで入ってよいのか分からない部分もあります。昔は周囲のおじさん達が親のようだったが、今は非常に難しいですね。
(委員)	子供が学校の勉強についていけず、不登校になりかけたことがありました。昔は遅れば遅れたままだったので、今の時代は科目ごとに補習をしてくれる仕組みになっていて、そこにしばらく行かせたら、登校が少しずつ楽しくなってきたようでした。今の教育が素晴らしいのは、不登校になりかけても補修用の学級があって、追いつくことが可能となる仕組みが備わっていることだと思います。
(委員)	それに、そういった所に行けば一緒に学べる仲間がいます。そういう面でも良いと思います。

	No. 13 「各地区の育成活動への延べ参加者数」(131 青少年の健全育成)
(委員)	昔は悪いことをすれば近所のおじさんに叱られたものです。今はそのようなことをすると問題になってしまうこともあります。
(部会長)	各地区の育成を支援してほしい、ということでまとめたいと思います。
	No. 15 「公民館事業別延べ参加者数」(131 生涯学習)
	No. 16 「図書などの貸出し冊数」(131 生涯学習)
(副部会長)	結果の分析はそのとおりで、台風や大雪は確かに特殊事情だと思いますので、あまり神経質に考えず、今後は地域の皆さんのニーズに答えるような講座やイベントの開催などで工夫してもらい、特色を出してもらえばよいかと思います。
(委員)	今年度の集計は出ていないと思いますが、望月図書館は、椅子コンテストの効果で利用者が増えていると聞きました。支所の中に移転したことで利用がしやすくなって、他の用事のために来た方が子供を連れてきて図書館にも寄っていく、というようなケースもあるそうです。
(部会長)	今後の努力に期待したい、ということでまとめさせていただきたいと思います。
	No. 17 「スポーツ教室延べ参加者数」(132 スポーツ)
	No. 18 「スポーツ大会延べ参加者数」(132 スポーツ)
(委員)	先程の図書館の件と同じく、こちらも、中止がなければ順調に進んでいたのではないのでしょうか。
(部会長)	それでは、こちらについても、今後の努力に期待したい、ということでまとめさせていただきます。

イ 第6章 「やや遅れている」「遅れている」の項目に対する質問・意見

<p>(副部会長)</p>	<p>No.66 「地域自主防災訓練実施区数」(611 防災)</p> <p>こじんまりした区の多い地区では、総合防災訓練に当番地区として参加すれば自分たちの方は省略しようという話になりますので、中込地区の事情はとても分かります。総合防災訓練に参加したこと自体が訓練なのですから、ここはあまり1区や2区の増減といった数字の動きにとらわれないほうがよいのではないのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>担当課としては数字を拾ってきてはいますが、実際には実施されたのと同様と思われるので、担当に確認して数値目標のとらえ方について再検討したいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>地域の実態によって訓練も異なると思います。消防団の消火栓訓練と家庭の消火器訓練で防災訓練とするところもあれば、高齢者の助け合いマップを使いながら本格的に安否確認の訓練をするところもあります。毎年、区の狙いに沿って計画して行えば、9月の防災月間中でなくても何か集まりのあったついでに実施するくらい柔軟でも良いと思います。地域防災意識の高揚は決して下がっていないと思いますが、大事なところでもありますので、今後も確実にやっていただきたいと思います。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>今の意見を踏まえ、こちらについては市の今後の方針のとおりとしたいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>No.73 「佐久市まちづくり活動支援金事業を活用する団体数」(621 協働のまちづくり)</p> <p>以前、駅前の放置自転車をレンタサイクルとして活用するという事業について、元気づくり支援金とまちづくり活動支援金の申請をしたことがあります。県の方が書類をスムーズに受理してくれました。結局、採択も元気づくり支援金だけいただきました。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>以前は掛け持ちができなかったのですが、今は金額によっては県との併願も可能です。実際に制度が変わってからまちづくり活動支援金の申請件数も伸びているので、その採択された事業をぜひまちづ</p>

	<p>くり活動支援金でも挑戦してほしいと思います。</p>
(事務局)	<p>まちづくり活動支援金は、地域の皆さんの自主的な活用が目的なので、使い勝手が悪ければ、どんどん仕組みを変えていっております。そういった要望があればぜひお寄せいただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>No.75 「区への加入率」(622 コミュニティの育成)</p> <p>区の加入率は深刻な問題だと思います。最近特に区費を払っていない方がごみステーションを利用することに対する苦情をよく受けます。</p>
(委員)	<p>ごみは名前を書いて、曜日さえ合っていれば、居住地区でなくても市内どこでも出せると聞きました。実際に、何軒か区に入っていない方がごみステーションに捨てていますが、名前が書かれてあるためそのまま収集されているようです。</p>
(事務局)	<p>基本にごみステーションを地元区で管理していただいておりますので、ごみ袋の売上代金を各区への交付金として払っているところです。ただ、ごみの捨て方については、市内どこでも良いとはしておらず、必ず自分の住む区のごみステーションに出してほしいとお願いしております。収集業者はどの地区に誰が住んでいるのかわからないので、ごみの種類さえ合っていれば、収集してしまうということはあるかもしれません。</p>
(委員)	<p>地域によっては、他所からごみ捨てに来ないように、捨てる時間帯に監視しているところもあります。</p>
(委員)	<p>実際に見張ることで外からのごみ捨てがなくなったという話も聞きます、ではごみをきちんと捨てれば区に入らなくても良いかと言え、そうとは言えないと思います。区に加入しないで隣近所が誰かが分からなくなってしまうと、防災の際の助け合いもできなくなります。地域で協力し合うためには、引っ越したら必ず入ってもらうくらいの強制力が必要ではないでしょうか。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>市によっては、必ず入るようという条例を制定しているところもありますが、加入率が100%に達することは難しいようです。アパートは、入居者がごみステーションを使えるよう、大家さんにまとめて区費を払うケースも多い状況です。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>いろいろ意見が出ましたので、事務局でまとめていただき、加入を増やすような策を検討してもらおうよう、部会報告に付記してほしいと思います。</p>

(2) 「チャレンジ！！」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

事務局より、第一次佐久市総合計画後期基本計画の第1章・第6章に掲げられた「チャレンジ！！」のうち、「具体的取り組みを実施中」（6章のみ）「未達成」の項目について説明。その後、部会において審議。（資料3-2）

ア 第1章 「C 未達成」の項目に対する質問・意見

(部会長)	131 生涯学習 定住自立圏は、相手もある話なので引き続き協議を進めていただきたい、ということにしたいと思います。
(副部会長)	図書館ネットワークの広域化は、県内で成功事例はあるのですか。それとも広域化そのものが非常に難しい話なのですか。
(事務局)	飯田地域は広域ネットワーク化が済んでいると聞いております（南信州図書館ネットワーク：飯田市・松川町・高森町・豊丘村による「南信州定住自立圏」に基づく制度）。効果は高いと思うので、引き続き話をしていきたいと思います。

イ 第6章 「B 具体的な取り組みを実施中」「C 未達成」の項目に対する質問・意見

(部会長)	624 行財政 小中学校の統合に伴う空き地の利用はどのように考えているのですか。市の財源にも関わってくると思いますが。
(事務局)	お金を生み出すような、経済が発展するような施策につなげたいと考えているところです。公共施設の項目にも関連しますが、統廃合を含め抜本的に見直さなければならないと考えております。基本的に市としては必要な施設・土地であれば活用しますが、いらないければ売却というのが大きな考え方です。ただ、施設を取り壊した跡地の利活用は、市の判断だけでは決められない部分もありますので、立地している地元や、現在活用している施設であれば利用者のご意見を聞きながら取り扱いを検討していきたいと考えております。例えば望月の4小学校の統合の際には、耐震性のある春日小学校のみ残して取り壊し、体育館については地元の方の活用要望がありましたので、そのままスポーツに使っていただいております。ま

	<p>た、校舎の跡地の活用については民間企業に売却できないかと考えていた経過もございました。</p>
(委員)	<p>10年という節目を迎え、様々な区要望が出ているだろうと思いますが、市の方針としては企業誘致も理解できます。人口が減少していくのだから、何でも作るのではなく、ある程度人口が集中する地域を考えながら整備していく方が良いと思います。</p>
(事務局)	<p>春日小学校については、コールセンターの誘致という話が出たことがあります。水面下ではいろいろ探っているところです。</p>
(委員)	<p>人口が減っている地域では工場の誘致は難しい面があります。市でも活用方法を検討中でしょうし、多方面の兼ね合いもあるでしょうが、区民の同意を得た上で早く進めた方がよいと思います。</p>
(事務局)	<p>古い施設を残したままにすることはありません。使わないならば除却して更地にして、自由な状態で土地利用を考えたいとしております。</p>
(委員)	<p>公共施設マネジメントとありますが、どこが担当なのですか。</p>
(事務局)	<p>企画課です。平成28年まで時間をかけて統廃合の全体的な方針を立てる予定でおりますが、現在ある施設も統廃合の対象となっております。</p>
(委員)	<p>613 交通安全</p> <p>死亡事故0ということはその通りだと思いますが、交通安全施設の充実を今後の方針として入れてほしいと思います。講習や啓発や市民大会の実施も重要ですが、ハード面として市道であればグリーンベルト化などの具体的な対応を入れていただければ、交通死亡事故0により早く近づくのではないのでしょうか。</p>
(委員)	<p>高齢者の運転免許保有の要件を厳しくした方が良いかと思います。これは市の施策ではないですが、80代の高齢者がブレーキとアクセルを踏み間違えるなど、事故が多い状況を見ていると、市として</p>

	免許証の自主返納を呼び掛けるなどの呼びかけをしてみてはどうかと思います。
(事務局)	県としては、免許証の更新時に認知症のテストなどを実施しております。市の高齢者施策では、認知症の方のご家族から相談があった場合には、更新をやめてはどうかとの提案をしております。免許証を取り上げるわけにはいかないのですが、できる範囲では、公共交通機関の利用を呼び掛けたりしておりますが、実際には免許証が身分証明書代わりに使われていたりするため、返納者があまり増えない状況です。佐久は車社会であるので難しい面もありますが、警察とも常に連携しているので、要望を警察にもつなげていきたいと思えます。
(委員)	交通安全協会はどのような組織なのですか。交通安全協会が警察の一部だとすると、啓発活動は、どのくらい盛んに取り組んでいるのでしょうか。地元区で振り込め詐欺などの講話を警察と交通安全協会の方が合同でやってくれて、今年初めてだったので、地域によっては協会活動が盛んでないのかと思ったのですが。
(事務局)	各警察で地域ごとの安全協会を持っている状況です。各安全協会のメンバーは、区の役員だったり、ボランティアだったりします。安全協会は数が多いが、全く活動していないところはありません。ただ、協会によって活動内容の幅が違う部分はあるかもしれません。
(委員)	地元の安全協会では、各戸の訪問をして振り込め詐欺の啓発を行ったりしています。

ウ 全体を通して

(委員)	前に戻ってしまいますが、中学生の国際交流フェスティバル参加という話がありましたが、今の中学生は行きなさいと言っても行かないです。ただ行きなさいと言うよりは、ボランティアとして一緒に参加する生徒を募るほうが効果的ではないでしょうか。
(事務局)	貴重なご指摘ですので、参考にさせていただきます。
(委員)	子供の数が減っていると聞きますが、総合計画について目標に使わ

<p>(事務局)</p>	<p>れている人数や計画人口を減らすということはあるのですか。</p> <p>現時点で計画人口を見直して減らす予定はございませんが、次の第2次総合計画では、新たに目標人口を定める必要があります。準備が始まる今から、計画の一番のベースとして、5年先、10年先の人口をどう推計するのが大きな課題となっております。策定する際には、審議会の皆様にもご相談しながら目標とする人口を定めたいと考えております。佐久市としては、人口が大きく増えることはないと思いますが、10万人前後を維持できるよう、人口減に対応した施策を展開したいと考えております。</p>
--------------	---

(3) その他

- ・次回会議の日程について連絡
- ・部会報告案については、部会長と調整のうえ、確認のため部会の全委員に郵送する。

4 閉 会